故障かな？と思ったら

症　状	確　認	処　置
ランプが点灯しない	●壁スイッチが切れていませんか？ ●ランプがソケットにきちんと挿入されていますか？ ●ランプが切れていませんか？	●壁スイッチを入れてください。 ●ランプソケット部を確かめてください。 ●新しいランプと交換してください。
	●もう一度壁スイッチ操作をしてください。	
リモコンがきかない (器具の近くで操作してもきかない)	●壁スイッチがOFFになっていませんか？ ●リモコンの電池が消耗していませんか？ ●電池が正しく入っていますか？ ●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていますか？ ●近くに別のインバータ器具や赤外線を発しているものがありませんか？ ●送信部が汚れていませんか？	●壁スイッチをONにしてください。 ●新しい電池と交換してください。 ●電池を正しく入れてください。 ●チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。 ●器具間を離すか他の器具をOFFにして確認してください。 ●汚れを拭きとってください。
なおリモコンがきかない	●リセット処置 壁スイッチでいったん電源をお切りください。	

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

注１：一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらき、次のような現象となり正常点灯しません。電源を切ってすみやかにランプを交換してください。(ランプ交換した後、点灯切り替えを行って再点灯してください。)
・ランプが消灯し、豆球が点灯する。
※ランプ交換の際には、すべてのランプを同時に交換することをおすすめします。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？
- ●コゲくさい臭いがする
- ●ランプを取りかえても正常に点灯しない
- ●器具に触れるとピリピリと電気を感じる
- ●その他の異常や故障がある

▶ ご使用中止：故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

⚠安全に関するご注意　～～照明器具の寿命について～～

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1 解説による。)
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
○アフターサービスについてご不明な点（修理・取扱いのご相談）は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、

1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
フロントセンター東京　☎(03)3424-1111　東京都世田谷区池尻3-10-3
フロントセンター名古屋　☎(052)721-0131　名古屋市東区矢田南5-1-14
フロントセンター関西　☎(06)6454-3901　大阪市北区大淀中1-4-13

2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター（フリーダイヤル）
0120(0120)139-365　東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

この説明書は、再生紙を使用しています。

製造会社 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467) 41-2729　FAX (0467) 41-2786

MITSUBISHI
三菱蛍光灯器具

蛍光灯シーリング

形名　**CPHZ86027E**

E762Z294H51

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

お客さまへ
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくためにこの「取扱説明書」を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

ご自分で器具を取付ける場合は、施工説明書をお読みになり器具を取付けてください。
電気工事は工事業者に依頼し、お客さまによる工事はなさらないでください。
電気工事には電気工事士の資格が必要です。

取扱説明書

○約５万Hzもの高周波の電子点灯でランプのチラツキが感じられません。
○電子点灯ですので約3秒で即時点灯します。
○周波数50、60Hzの関係なく全国どこでも使用できます。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。
絶対に分解・改造しないでください。	

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

厳守
■異常時は電源スイッチを切る
煙がでたり、変な臭いがしたらすぐスイッチを切る
火災・感電の原因

分解禁止
■分解・改造はしない
火災・感電の原因

禁止
■金属やごみを差し込まない
器具のすきまやソケット部にピンや針金・可燃物などを差込まない
火災・感電の原因

禁止
■布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせない
火災の原因

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
■電気工事はしない
有資格者に取付けを依頼
感電の原因

禁止
■温度の高くなるものを置かない
器具の真下にストーブなどを置かない
火災の原因

禁止
■ランプに塗料などを塗らない
ランプが過熱、破損してけがの原因

禁止
■引火する危険のある場所
可燃性スプレーを吹き掛けない
火災の原因

禁止
■乾電池の（＋）、（－）を逆に入れたり、新・旧・他の種類の電池を混ぜて使わない
けが・故障の原因

禁止
■乾電池をショート・分解・加熱したり、充電したりしない
液漏れ・破損・発熱によりけが・故障の原因

厳守
■長期間使わないときは電源を切る
感電・火災の原因

厳守
■長期間使わないときは電池を抜く
液漏れの原因

お願い

●器具の近くではテレビ用などの赤外線リモコンが作動しない場合がごくまれにあります。離してお使いください。
●器具の近くでラジオを使用すると雑音が入る場合があります。離してお使いください。
●点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

仕様

	定格電圧	入力電流	消費電力(リモコンOFF時1W)	適合ランプ	適合豆球	点灯順序
86W	100V	0.8A	79W	FHC27(高出力点灯38W) ×1 FHC34(高出力点灯48W) ×1	5W	全灯→段調光→豆球

お手入れ

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
(洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないようにしてください。)
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。
安全にご使用頂くために半年に一回の保守点検をおこなってください。

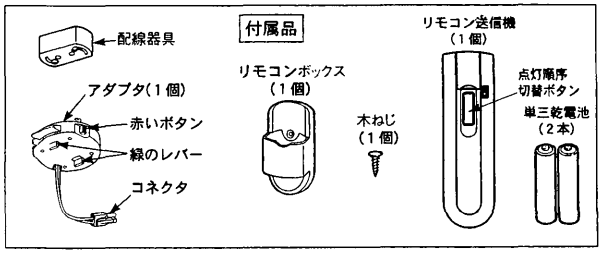
⚠警告
器具ランプを水洗いしない
火災・感電の原因

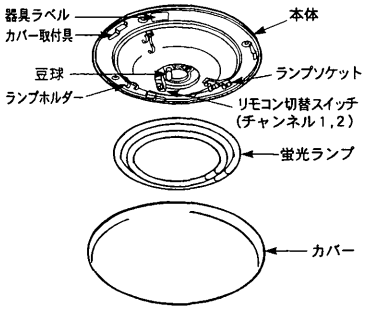
⚠警告 取付け工事は施工説明書に従い行う
（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

⚠警告 器具の取付け、ランプ交換、お手入れの際は
安全のため電源を切る （感電の原因）

各部のなまえ

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります

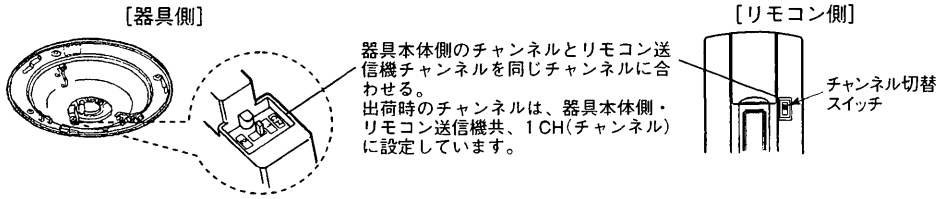




使用方法

壁スイッチを必ず『入』にしてください。

チャンネル切替スイッチの設定のしかた



2台の器具を操作する場合

器具側とリモコンのチャンネル切替スイッチを次のように設定すると、個別操作と同時操作ができます。

○1台のリモコンで2台を同時に操作する場合（同時操作）

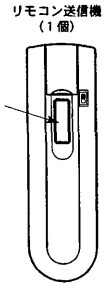
	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1CH
2台目	1CH	

○2台を個別に操作する場合（個別操作）

	器具側	リモコン側
1台目	1CH	1CH
2台目	2CH	2CH

リモコン操作

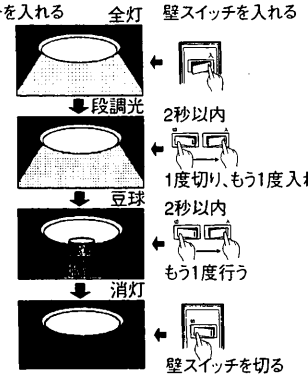
点灯順序切替ボタンで3つの照明パターンが選べます。



※天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。

※室温が低いと（10℃以下程度）点灯直後、リモコンで切替えにくい場合があります。その際は、しばらくしてから切替えてください。

照明パターン



壁スイッチ操作

壁スイッチを入にすると全灯になります。

照明パターンは壁スイッチをいったん切にして、2秒以内に再度入にすると、左図の順序で切替わります。

※次の現象は異常ではありません。
●スイッチ操作が早い場合（0.5秒以内）切替わらないことがあります。
●壁スイッチが入ったまま停電になると停電が復帰したときに全灯状態になります。

カバーの取りはずしかた・取付けかた

○取りはずしかた

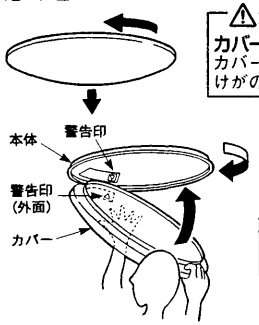
カバーを左にまわす。

○取付けかた

本体の警告印（⚠）にカバーの警告印（⚠）を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわす。

※確実に取付けたか、軽くカバーを引き下げてはずれないか確認する。

※カバー取付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取付け（押し上げ）が不十分です。施工説明書の「本体の取付けかた」に従って、本体の取付け（押し上げ）を確認してください。



⚠注意
カバーは無理にはずさない
カバーが割れ、落下してけがの原因

⚠注意
取付け不完全は
落下・けがの原因

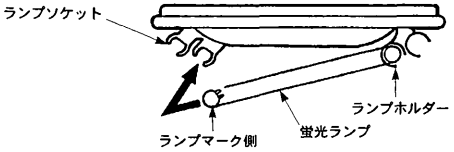
ランプ交換のしかた

○取りはずしかた

ランプソケット側からランプを取外し、次にランプホルダーからランプを取外す。

○取付けかた

ランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取付け、ランプソケットに確実に差し込む。
ランプソケットの表示に従ってランプを取付ける。
ランプの口金は、多少動くようになっていますが無理に回さないでください。

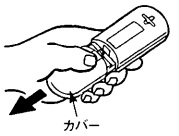


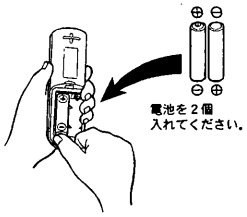
ランプソケットへの差し込みが不十分な場合、ランプが点灯しない場合があるので確実に差し込む。

⚠注意
- **器具表示の指定W(ワット)数のランプ以外使わない**
  過熱して火災の原因
- **ランプホルダをランプに強く当てない**
  ランプが破損してけがの原因
- **点灯中及び消灯直後のランプには触らない**
  高温のためやけどの原因
- **使用済みランプは不用意に割らない**
  ガラスの破片が飛散してけがの原因

リモコン送信機の乾電池の入れかた

カバーを軽く押しながら手前に引いて外す。
乾電池の極性⊕⊖を間違えないように入れて、カバーを閉める。
リモコン送信機の平均電池寿命は、1日10回使用した場合、約1年間です。
電池交換の際は、必ず2本とも交換してください。
（使用電池は単三形）





リモコンボックスの取付けかた

壁面などに取付けてリモコンを入れる。
付属の木ねじでリモコンボックスをしっかり壁面に取付ける。

リモコンボックスに入れたままリモコン操作を行うと、動作しない場合があるので、その場合はリモコンボックスからリモコンを取り出し、本体スイッチの方へむけて操作してください。

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ（FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ）は、次のような特徴があります。
◎FHCは、ガラス管径16mmスリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。
◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極（ランプマークが表示されていない側）に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。
◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。
約10分程度で明るくなります。